

泌乳持続性を高めましょう

乳量の遺伝評価法が検定日モデルに変更されたことに伴い、これまでの305日生産量の遺伝評価値だけでなく、種雄牛ごとに乳量の遺伝的能力を泌乳ステージに応じた曲線(遺伝能力曲線)で表示できるようになりました。

図1には具体的な遺伝能力曲線のイメージを表示しています。1乳期にわたる遺伝的能力の推移を表す際に、泌乳曲線をイメージしやすいよう、ベース曲線(北海道・初産・26ヵ月齢・4月分娩の平均的な泌乳曲線の形状)に遺伝的能力曲線を加えた形で表示します。遺伝能力曲線とベース曲線に挟まれた部分の面積は、1乳期当たりの遺伝的能力を示しています。

泌乳持続性は1乳期において、ピーク時の乳量を持続する能力の事であり、分娩後240日目の乳量とピーク時に相当する分娩後60日目の乳量の差が用いられます。この差が小さいほど泌乳持続性が高いと解釈できます。例えば図1では、左側の種雄牛は泌乳持続性が高く、右側は泌乳持続性が低いということになります。図1に示す2頭の種雄牛は、乳量における遺伝的能力は同程度ですが、左側に示した個体の方が泌乳持続性に優れていることが分かります。

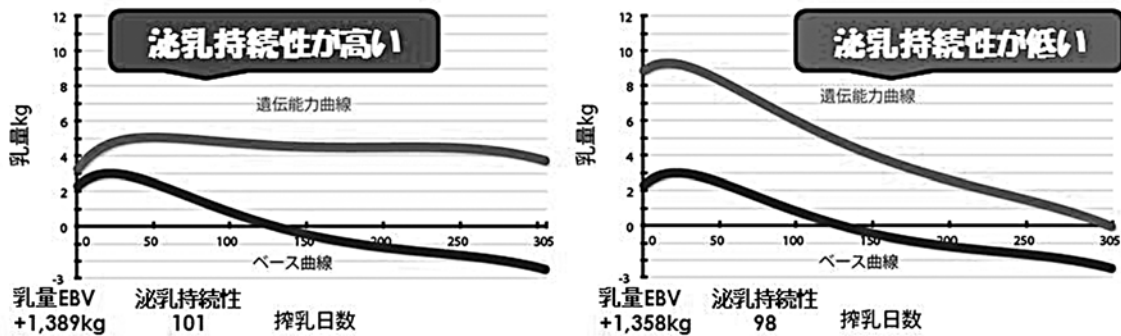


図1 遺伝能力曲線のイメージ

泌乳持続性の評価値は97~103の7段階で表示されます。それぞれの評価値の目安的な意味は表1に示した通りです。

表1

評価値	泌乳持続性
102~103	泌乳持続性が比較的高い
99~101	普通
97~98	泌乳持続性が比較的低い



泌乳持続性を高くすることにより、泌乳ピーク時の乳量がそれほど高くなくても、泌乳ピーク時の乳量を維持できるので、高い生産性が期待できます。

また、泌乳持続性を高くすることで、泌乳ピーク時と各泌乳ステージの必要なエネルギー量の差が小さくなり、泌乳ピーク期間のマイナスのエネルギーバランスが改善されます。その結果、泌乳ピーク時の泌乳ストレスに起因した疾病等が減少することで、乳牛の健全性が向上し、繁殖性の改善、治療費等の削減も期待できます。

必要なエネルギー量を維持しながらも繁殖性の改善、ボディコンディションの維持、また飼養管理の簡便化も期待できる形質ですので、皆様の改良方針にあった種雄牛を選ぶ際に活用して頂ければと思います。

詳しくは岡山種雄牛センター小園 ☎(0868)57-2475 まで問い合わせ下さい。

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ —その④⑥—

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC スーパーL資金の貸付当初5年間無利子化制度の継続が決定！！

認定農業者の方に設備資金や長期運転資金などとして総合的にご利用いただけるスーパーL資金について、平成25年度も貸付当初5年間の実質無利子化制度が継続されることとなりました。

今回は、その概要をご紹介します。

<スーパーL資金実質無利子化のための金利負担軽減措置>

「人・農地プラン」に基づき競争力・体質強化に向けて意欲的に生産拡大等に取り組む農業者等を支援するため、(公財)農林水産長期金融協会が利子助成することで貸付当初5年間の金利負担が実質無利子となる制度が、平成25年度も継続されます。

※利子助成の上限は2%です。このため、公庫の貸付金利が2%を超える場合は、2%を超えた部分は借入者の負担となります。

1 利子助成の対象者

「人・農地プラン」に地域の中心となる経営体として位置付けられた認定農業者

※「人・農地プラン」とは、集落・地域が抱える人と農地の問題解決のため、今後の地域の中心となる経営体はどこかということや、地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業のあり方等について、集落・地域における話し合いや市町による検討会を通じて策定されるものです。詳細は、お住まいの市役所・町役場にお問い合わせください。

2 利子助成の対象事業

農地等の取得・造成、施設・機械の取得・改良・造成等、長期運転資金

※利子助成の取扱額には限りがあるため、実質無利子とならない場合がございます。

3 利子助成を受けられる期間

貸付当初5年間

※6年目以降は、通常の利息をお支払いいただきます。また、この措置は、毎年度国の予算内で実施されるものであり、予算の状況によっては、利子助成の内容に変更が生じる可能性があります。

<ご留意いただきたい事項>

○実質無利子化のための利子助成措置は、取扱額に限りがあり、資金の使いみちやご融資の実行の時期によっては、ご希望に添えない場合がございます。

○審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。

○上記以外にも資金をご利用いただくための要件等がございます。詳しくは、下記の連絡先までお問い合わせください。

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6階

TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(6月は5日と19日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(6月は6日と20日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(6月は14日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。